

令和2年度第1回防府市地域公共交通活性化協議会（書面協議）  
主な意見と対応方針

【協議事項】

<玉祖デマンドタクシーの運行について>

No	主な意見	対応方針
1	利用者の新型コロナウイルス感染予防としての注意事項（ルール化）は？ 感染防止への理解と普及が大事だと思う。	利用者側の感染防止策としては、マスク着用、目・鼻・口を触らないが挙げられ、タクシー車両等に啓発ポスター等を掲示するなどの方法を検討したいと存じます。 事業者側の感染防止策としては、(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会が策定した、「タクシーにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」に沿って、乗務員のマスク着用や、運行ごとの車内除菌などを実施しております。 市広報で安全な公共交通の利用の仕方、感染防止策を掲載する予定です。
2	病院受診（県立総合医療センター）のため、朝9時前に病院に着ける時間を考慮してもいいのではないか。	玉祖デマンドタクシーの1便(9:00 発)は、乗降場所である、ユアーズバリュー右田店やサンマート右田店の開店時間に合わせて、乗り合わせて利用していただくように、ダイヤ設定をしております。また午前9時前の時間帯は、市内全域において、一般乗用自動車運送事業（通常のタクシー）の利用者が多いことから、この時間帯に玉祖デマンドタクシーを運行するための運転士確保が困難な状況です。

<p>3</p>	<p>認知されている人は多いが利用方法まで知っているか？</p> <p>なぜ利用しないのかの理由、その人たちはタクシーを利用か。ならば、必要がないのでは？</p>	<p>令和元年 10 月の玉祖デマンドタクシー運行開始前に、玉祖福祉センターにおいて利用説明会を 2 回開催したほか、さらに玉祖地域の自治会に協力いただき、地域の全世帯に利用方法を記載したチラシを配布しました。</p> <p>利用されていない方の多くは自ら自家用自動車を運転される方や、家族の送迎を受けられる方など他の移動手段がある方と考えております。</p>
<p>4</p>	<p>資料 1 P17～18 の公共交通懇話会での主な意見でもあがっているように、現状の利用率からすると、デマンド乗合タクシーが本当に必要とされているかどうか、将来的に考えていく必要があると感じています。</p> <p>今は路線休止に伴うデマンドタクシーの運行のため、見直しをしつつという段階であると思いますが、新型コロナウイルス感染症の影響も考慮しつつ、利用促進も取り組んでいっていただきたいと思います。</p>	<p>玉祖デマンドタクシーに限らず、市内の路線バスの利用者数は減少を続けており、新型コロナウイルス感染症により、さらなる減少も予想されます。</p> <p>このような状況の中、利用促進に取り組む一方で、デマンドタクシーも含めた公共交通のあり方について検討していきます。</p>

<地域の実情に応じた公共交通サービスの検討について（大道）>

No	主な意見	対応方針
1	<p>今現在での検討は、新型コロナウイルス感染症収束後の社会環境の変化が加味されていない。</p> <p>今は感染防止の理解と普及が大事に思われる。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症収束後の社会状況がどのように変化していくのか、収束後の新しい生活様式の変化が見込まれます。</p> <p>社会状況の変化を見ながら、地域の実情に応じた公共交通サービスを検討していきます。</p> <p>また、市広報で安全な公共交通の利用の仕方、事業者の感染防止策等を掲載する予定です。</p>
2	<p>「認知しているが利用していない」が多いのはタクシーを利用しているのか。</p> <p>改善要望も少ないということは、デマンドタクシーを必要としていないのではないか。</p>	<p>「他の移動手段があるので利用しない」と回答した人は79.1%と多くなっています。</p> <p>（資料 2-2「地域の実情に応じた公共交通サービスの検討について―大道地域―」のP10の「⑤切畑デマンドタクシーについて」）</p> <p>改善要望は多くありませんが、切畑デマンドタクシーを日常の移動手段として利用されている方もいらっしゃるため、乗合率の向上を図りながら、現行の運行内容で、引き続き運行します。</p>
3	<p>現行「高齢者等バス・タクシー運賃助成制度」もあるので、一般タクシーの方が便利とされている部分もあるかと思うので、他の地区とのバランスなども考えていただきながら、引き続き利用促進をし、乗合タクシーを続けていくのかどうか、地域の移動手段のあり方を考えていっていただきたいと思えます。</p>	<p>いただいた御意見も参考に、他の交通モードも含めた、地域の実情にあった公共交通サービスを検討していきます。</p>

## 【報告事項】

### <路線バスの利用促進に関する取組等について>

No	主な意見	対応方針
1	感染防止への取組、利用者が安心して利用できる防疫環境（社会）の普及。	市広報で、安全な公共交通の利用の仕方、事業者の感染防止策等を掲載する予定です。
2	新型コロナウイルス感染防止対策をしているのをもっとアピールする。	
3	安心してご利用いただくために、各事業者が行っている取組を紹介する（感染症対策など）	
4	路線バスの経路変更、病院の前、スーパーの前にバス停をつくる。 今後、利用者が少ない路線は運転者不足、赤字等でなくなってしまう。 補助金減→運行本数減→廃止となっていく。	「防府市地域公共交通網形成計画」において、地域、事業者と協議を進めバス路線の再編等を行っています。
5	新型コロナウイルス感染症の影響は路線バスにおいても収入が30～40%減となっており、補助対象ではない自主運行路線が維持できない状況に陥っています。事業者の内部補填でこれらの路線を守っていくことは不可能なところまで追い込まれています。	新型コロナウイルス感染拡大に伴う、移動自粛等により公共交通の利用者が大きく減少し、公共交通事業者は、大幅な減収に陥っています。新型コロナウイルスの影響を踏まえ、運行形態のあり方等について事業者と協議していきます。

6	<p>路線バスの利用促進を言うならば、現在使用していない人に利用してもらう施策を考える必要があると思う。</p> <p>割引券の配布も悪いとは言えないが、既存の利用者が使うだけであまり効果は見込めない。</p> <p>思い切って、ノーマイカーデーを実施するなどの施策を考える必要があると思います。</p>	<p>いただいた意見を参考に、普段路線バスを利用することがない方の利用の機会づくりとして、ノーマイカーウィークを実施する予定です。</p> <p>その際に、割引券の配布による利用促進について、バス事業者の御協力を得ながら、しっかりと結果を分析し、今後の施策に反映させていきたいと存じます。</p>
7	<p>総合時刻表などは作成しないのか。</p>	<p>時刻表は利用者にとって、運行時刻を知るための媒体であり、正確でなければならず、ダイヤ改正があった場合、改正前に発行する必要があります。他市町村の事例を参考に研究を進めていますが、ダイヤ改正時の編集作業などの課題があり、発行することの有効性も含め、引き続き研究を進めます。</p>
8	<p>市の広報等による広報活動により情報発信を行い、バス半額手形の利用促進を図る。</p>	<p>引き続き、市広報等でバス半額手形の周知を図っていきます。</p>
9	<p>親子で参加するバス乗り方教室については、新型コロナウイルス感染拡大対策として新しい生活様式に取組ながら、学校等でDVD や WEB 等の映像を通じ、バス利用のサービスについて興味や関心が沸き、利用率が上がるよう工夫する。</p>	<p>親子で参加するバス乗り方教室において、安全な公共交通の利用の仕方についても周知して参りたいと存じます。いただいた御意見や、他市町村の事例を参考にし、バスへの興味・関心が沸くような内容を研究していきます。</p>
10	<p>持続化給付金の仕組みは、交通事業者に関しては例外規定を考えてもらえる様に、政府に交渉すべきと思います。</p>	<p>持続化給付金の要件緩和については、全国市長会を通して、国に要望しております。</p> <p>今後も、適切な支援が図られるよう、公共交通事業者と連携を図ります。</p>

11	<p>現在、また感染が増えている中で、感染への不安から利用が控えられている状況だとは理解していますが、それこそ JCOMM でポスターを公表されているようにマスクをして、話すことを控えれば、感染リスクは下がるので、</p> <p>(実際、これまでに公共交通の分野では、クラスターは発生していません)</p> <p>「感染リスクを下げながら、利用していく」利用促進の取組を考えていていただきたい。</p>	<p>安全な公共交通の利用の仕方、事業者の感染防止策等を併せ、利用促進について市広報等を通じて周知していきます。</p>
12	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、県外への移動制限が再び実施されるかもしれません。</p> <p>こうした厳しい状況をチャンスと捉え、公共交通の利便性を市民の皆様にも再認識してもらうためにも、市内の観光名所などの近場を路線バスで巡る周遊プランなどを計画してはいかがでしょうか。</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、移動するという行為自体が見直されていると考えられます。</p> <p>いただいた御意見を参考に利用促進に取り組んで参りたいと存じます。</p>

【協議事項以外】

No	主な意見	対応方針
1	<p>本協議事項とは関係ありませんが、バスによっては乗降口の段差がひどいがあるので乗降がむずかしいので利用できないバスがあるので、タクシーを利用するようになってしまうというお話を高齢者の方から聞くことがあります。</p>	<p>市内を運行する防長交通、中国ジェイアールバスとも、車両の更新と併せて順次、低床車両（いわゆるノンステップバス）を導入しているところです。</p>
2	<p>現在の高齢者等バス・タクシー運賃助成制度の見直しを行い、①元気な方にはバスを利用していただく。②バスカード購入助成に切り替える。などの方法により、利用者はより路線バスを利用していただく方向にもっていかないと超先細りとなる。</p>	<p>高齢者等バス・タクシー運賃助成制度は、制度開始から3年が経過し、申請者や助成額は年々増加しています。利用状況を分析しつつ、市の財政負担も考慮し、制度の見直しを図っていきます。</p>
3	<p>障害者の立場から、今後デマンドタクシーの路線等を増やしていただきたい。「家から目的地へ」このような利用機関の一環として希望します。</p>	<p>デマンドタクシーの導入は、公共交通の補完を目的としているものであり、地域の実情に応じた交通モードを検討する中で、その導入を検討していきます。</p>